

草の根

第42回

No. 4

新日本婦人の会 浜松支部
〒430-0907
浜松市中区上島3-33-6
TEL&fax 464-9881

声をあげ、生きづらい社会を変える！安倍9条改憲ストップ、

ジェンダー平等と持続可能な世



全世界が「平和の波」行動に参加

広島への原爆投下の8月6日8時15分から長崎への原爆投下の9日11時2分まで、日本と世界で「平和の波」行動が呼びかけられました。浜松支部では原水爆禁止2020年世界大会広島デー(8月6日)に平和委員会との共催でオンライン視聴会を開催、13人の参加がありました。

また、8月9日にはヒバクシャ署名統一行動を浜松駅前前で13人の参加者で13時から行いました。コロナ感染に配慮しながら、のぼりやボードを掲げ、センター合唱団のアコーディオンに合わせてハミングをし、核廃絶をアピールしました。

オンライン視聴会の参加者から感想をいただきました



た日本はそういう人たちの思いに、ちゃんと答えているのかと問いかけていました。ユーチューブでも見られます。ぜひ聞いていただきたいと思いました。

今回オンライン視聴会を開催してくださった、浜松平和委員会の皆さんに感謝です。



8月6日、原水禁世界大会(オンライン)を視聴しました。13名の参加で行われました。新婦人からは5名出席。

オンラインでの大会開催は初めての試みで広島市長の声が聞こえず、3回目にしてやっと聞くことができると、アクシデントがありました。開催するにあたっての大会関係者の方々の、苦労が垣間見えて、むづかしい中でも、よく準備してくださったと思います。

世界中で、核兵器禁止の運動をリードするそうそうたる方たちの挨拶がありました。

その中で私が一番心に残ったのは安田菜津紀さんの話でした。イラク北部の町に「ひろしま通り」があり、8月には、広島と長崎に哀悼の祈りをささげて下さっているとのこと。

イラク戦争の片棒を担いでしまっ

平和部 宮崎育子

大会は昨年の日本母親大会記念講演講師をされた、富田宏治さんの主催者報告から始まり被爆者の証言、ゲストスピーカー3人の発言、その後、内外の10人の発言がありました。ゲストスピーカーの一人、国連軍縮担当の中満泉さんは昨年の母親大会で富田さんが「小学校時代広島を訪れた経験が今の仕事のモチベーションとなっているそうで平和教育が実を結んできている」と紹介していました。核兵器禁止条約に背を向け続けている日本政府を思うと、

私は45年前に広島で世界大会に参加しましたが大会前後の取り組みも含めてその時一体感、臨場感を感じ出すと核兵器禁止条約発効目前の今年の大会はどんなに素晴らしいものになったろうと、つくづくコロナ禍の現状が悔しくなりません。しかし、各発言者の発言内容は同時通訳を通してしっかり聞き取ることができたのでその点は良かったと思います。

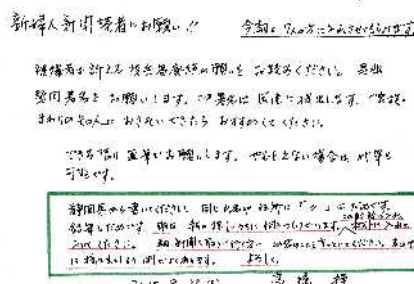
コロナ対策で定員20人とのことでしたが参加者は、13人と少しさみしかったのが残念でした。

オンラインは松井広島市長の部分がうまくつながらず集会の最後で改めてつないで発言が行われるというハプニングがありました。がその他は順調に進みました。

細江班 寺澤和代



ヒバクシャ署名取り組みました!!



中満さんの活躍は誇らしくもあり、話を聞けて良かったと思いました。

また発言者のプロフィールや発言内容が印刷され、会場での資料として配布されたのが理解しやすく主催者に感謝でした。

すみれ班の高橋操さんは、提出目前に迫ったヒバクシャ署名を何とか取りたいと、お願いを書いた文をつけて署名袋をつくりました。ご近所に配布して書いていただいた署名が35筆。このコロナ禍のなか、街頭でもなかなかとりにくくなっている署名です。日頃の係わりや、つながりがあればこそですが、思いが通じれば、まわりの方たちも答えてくれることを改めて教えていただきました。



すくすく班 清水伸江

班はリズム小組がなくなり班活動は何もできていませんので私の近況を書きます。6月13日、狭い所で足上げの体操をしていたところ、バランスを崩し、後ろ向きに倒れ背中をベッドの端にぶつけ骨を折ってしまいました。産直の配達もみなさんに助けていただき、2ヶ月でやっと完全に復帰しました。今まで普通にできていたのが、だんだんできなくなってきます。コロナや暑さ、年齢に負けないよう互いに頑張りましょう。



班会&小組活動あれこれ

各ブロックから班の様子・班会の様子・会員の思いや作品を紹介します。

西山班 山口圭子

西山班では、昨年11月に「介護予防」というテーマで班主催の講座を立ち上げました。健康長寿をのばすには運動することがとても大切です。身体機能の維持・向上をめざして、また認知症予防にとっても効果があるといわれている運動も取り入れてみんなで話をしながら楽しく運動するという講座です。



新型コロナの影響もあり、参加人数は、まだまだ少ないのですが、何とか継続していき、少しづつでも増えていけばいいなと思っています。

私たちの班会

のぎく班 吉田由巳子

私達ののぎく班は80歳前後の高齢者ばかり6人の集まりです。班会は会員さんのお宅をお借りして、毎回全員出席。しんぶんのみ読み合わせ、その時の政治、社会問題、身の回りの出来事など皆が思うことを楽しく話し合っています。ただひとつの悩みは若い方を班にお迎えしないとこのままではじり貧と云うことです。今はそのことで皆で何とか知恵を出し合わねばと云っているところです。



西部地域の医療を守る会結成へ

しあわせ班 浅野千枝子

2019年9月厚生労働省は「公立・公的病院の統廃合」を名指して発表しました。全国430病院、県内13病院。

西部地域では湖西病院 浜松日赤病院 浜松労災病院です。厚労省の一方的な決めつけである。地域性を見ていない等、病院長や労組からの抗議がありました。が、加藤厚労大臣はコロナ禍の3月国会で「地域医療構想の議論は続ける」と回答しています。

浜松市は、全国に先駆けて二次救急体制（24時間365

日安心して医療が受けられる方式）をつくり実践してきた市です。安全・安心・いつでもかかれる医療機関の存続を、維持し続けていきたいと願っています。コロナ禍が続いていますがこれから冬に向けインフルエンザや、猛暑、残暑の中での熱中症やもろもろの不調や不安の時、すぐに対応できる場所は大切に残しておきたいです。

地域の大切な医療体制の継続・存続のためにも、地域の皆さんと力を合わせて運動を進めていきたいと「西部地域の医療を守る会」結成が発信され、8月21日に結成しました。

私たち新婦人浜松支部も加入しました。これからも地域の医療を守るため、ともに力を尽くしていきたいと思えます。



しまの花だより

すみれ班 近藤しま

先日のNHKのC・W・ニコルの「アフンの森…」をごらんになりましたか。すごく感動しましたよ。

花だけでなく雑草まで好きな私は「植物は偉大だな」とお手本としています。この頃は記念樹ブームですが、私のおススメは一たとえば可愛い「Oちゃんの花」を決めて、育ててみることです。自信のない方は失敗のない球根や食べられるものetc 楽しくて、生きるささえになります。

これからの予定

- 9/9(水) 9の日行動 13:00~ 浜松駅前
- 9/11(金) ピースアクション 11:00~ 浜松前
- 9/12(土) ヒバクシャ署名行動 13:00~ キタラ
- 9/17(木) 市民の会 市との懇談 14:00~
- 9/19(土) 総がかり行動 16:00~
- 9/23(水) 久保山愛吉氏追悼焼津行動 墓参行進は中止
詳細は後日お知らせします。
- 9/24(木) 消費税行動 13:00~ 遠鉄新浜松駅